

株式会社東芝 取締役・機関投資家 グループミーティング

日時：2021年8月16日（月）17:30-18:30（日本時間）

2021年8月17日（火） 7:30- 8:30（日本時間）

出席：取締役会議長（暫定） 代表執行役社長 CEO 綱川 智

社外取締役 戦略委員会委員長 ポール・プロフ

社外取締役 報酬委員会委員長 ジェリー・ブラック（8月16日のみ）

社外取締役 監査委員会委員長 橋本 勝則

形式：Zoomによるリモート会議

■取締役会議長（暫定） 代表執行役社長 CEO 綱川 智 冒頭挨拶

綱川でございます。本日は、お忙しい中、お集りいただき、ありがとうございます。

8月12日の決算発表において、新取締役と各委員会の活動状況について説明しました。ここにお集りの皆様は、既にご覧になっていただいているかと思しますので、本日はなるべく皆さまからのご質問を受けることに時間を割きたいと思ます。

ただ、冒頭に投資家及び株主の皆さまにお伝えしたいポイントを少しだけお話しさせていただきます。

最初に、取締役会を代表して、Makinson Cowellによる匿名での株主エンゲージメント調査にご協力いただいた株主の皆様へ深く感謝申し上げます。戦略委員会は既にMakinson Cowellからの報告を聞いており、新中計策定の参考としています。

この株主調査、そして株主の皆様との対話を続ける中、皆様からの信頼回復のためにはなるべく早く当社の企業価値向上を実現する新しい戦略をお示しする必要があることが確認されました。よって、取締役会も執行部も新中計の策定を最重要課題と位置づけ、スピード感を持って取り組んでいます。

また、戦略委員会は、5月14日及び6月25日にお示した内容を実行しています。独立した立場で、フィナンシャル・アドバイザーやコンサルタントと共に、東芝の全面的な検証を極めて高い頻度で緊密に行っています。執行部との議論や、株主・戦略投資家・金融投資家との対話も実施しています。先日は非上場化については慎重な検討を要する、と述べましたが、非上場化を含め、企業価値向上のための様々なご提案や可能性について、結論ありきではなく、オープンな議論を行っております。現時点では正に議論の途上であり、機密性の高い事項を詳しくお伝えすることは差し控えます。取締役会として開示すべきと判断したものについては、速やかに公表いたします。この新しい委員会の活動は、従来の検討の枠を超えた中期計画の策定に貢献すると確信しています。

その他の委員会も、新しい委員長及び委員の下、密に連携して精力的に活動しております。

次にガバナンスに関する取組みについてです。既に公表している通り、ガバナンス強化委員会が設置されました。改めて申し上げますが、ガバナンス強化委員会は、調査者による事実認定を再調査することを意図したものではなく、真因の究明、責任の所在の明確化、再発防止策に向けて提言します。

取締役会と執行部は第182期の定時株主総会の結果を真摯に受け止めて、全てのステークホルダーの皆さんの利益のため、密に連携して精力的に活動しております。かなり多忙を極める状況となっております、

皆様とのエンゲージメントの時間も限られておりますため、このグループミーティングを開催しました。本日は委員会の委員長も出席しておりますので、是非、この機会に色々ご質問やご意見を頂戴したいと思います。よろしくお願ひします。

以 上